

積極面を評価しつつも、重要課題の問題点を指摘

3月議会討論、平良木議員が反対討論

3月議会報告の続きです。最終日の3月24日は、委員長報告のあと、討論、採決を行いました。

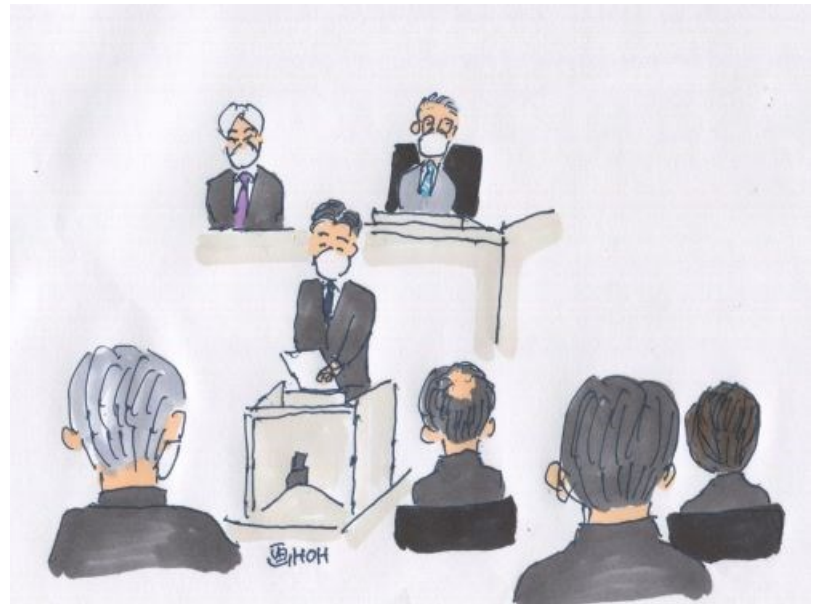
議案に対する討論には、平良木議員など6議員が登壇しました。

日本共産党議員団の平良木議員は、「新年度一般会計予算については、子ども医療費助成の拡充、要援護世帯除雪費助成制度の改善、広島平和記念式典への中学生派遣人数の拡充、タクシー事業者への夜間運行への支援、若者の奨学金返還支援制度の創設などは、市民の願いに寄り添う、大変積極的な施策だ」と評価しつつも、学校給食の民間委託推進などいくつか重要課題で認めることのできないものがあると指摘し、新年度一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護

保険特別会計予算など7議案に反対しました。

他会派の討論は全議案賛成でしたが、地域独自予算については疑問視する声が相次ぎました。

最賃の抜本的な底上げを求める請願、物価上昇に見合う高齢基礎年金などの改善を求める請願は賛成少数で不採択となりました。この時の討論で印象に残ったのは上野、宮越両議員の賛成討論です。このうち宮越議員は、物価高などの異常事態を指摘しつつ、「生きるか死ぬかの請願だ。市民の



声を国政に届けるのは我々の責務だ」と訴えました。迫力満点の討論でした。

地域独自の予算について総務常任委員会で議論

新年度から始まる「地域独自の予算」について総務常任委員会審査では多くの時間を割きました。

私からは、「昨年10月の所管事務調査以降、変更点も見られるようだが、新制度の設計の完成形があるなら示してほしい」「地域活性化の方向性については、地域協議会の皆さんから骨を折ってもらったが、今後、地域づくりをどう進めていくか、あるいはどういう事業を『地域独自の予算』でとり上げていくかのモノサシ（指針）としてはあまり役に立たない。わずか数行の「地域活性化の方向性」ではなく、地域計画作成へと舵を切るべきではないか」「地域のことは地域で決めて、地域で実行することが大事なのに、今回は地域で決めるところが見えてこない。それぞれの区の代表機関である地域協議会が決定するプロセスが見えない。今回の制度設計をするにあたっては条例などの整備が必要だったのではないか」と質問しました。

これに対して市側は、「これまでの所管事務調査で示してきた文書の文言整理をしている段階だ。24日の最終日までには示せる」「地域独自予算を練り上げるにあたって、まちづくりセンターや総合事務所が地域に入って、一緒にこ

の予算案を練り上げてきた。そういった意味では、地域で決めるということは、この地域独自予算の仕組みにおいてもしっかりと達成していると認識している。地域で決めて地域で実行する、その地域自治の仕組みということで、地域独自予算以外の手法ももしかしたら考えられるかもしれない。それはいろいろな手法を考えてみたい。その中で地域協議会の権限等の変更があれば、それはまた条例改正の方が必要となってくる。その検討の状況に応じて、そこはまた考えていきたい」と答えました。

地域独自の予算については、まだまだ議論していく必要があると感じました。



【ナシ】バラ科の植物。果物のなかでは、リンゴ、ミカンと並んでおなじみです。写真のナシの花は、子どもの頃から知っているナシの木のもので、60年ほど前、近所の子ども仲間で、暗い時間帯に、このナシを食べに出かけ、叱られたことがある思い出の木です。花期は4月頃。花言葉は「愛情」。写真は、吉川区尾神にて4月3日に撮影しました。



はしづめ法一の
活動レポート

No.2105 2023.4.9

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
である記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七五二回

ミニアルバム

先日、私の誕生日祝いだといって、長女が水色のナイロン製の袋に入ったものをプレゼントしてくれました。

袋は縦横一五センチほどの正方形で、厚さは三ミリ弱です。「ハンカチにしては大きな」と思いながら、開けてみたら、なんと母のミニアルバムでした。写真は全部合わせて二〇枚ありました。

表紙には、「コタツのそばで横になって電話をかけている母が写っていました。それも右手を頭の後ろに回して笑っている、いつもの母の姿でした。アルバムのうち何枚か、印象に残ったものを紹介します。

まず、一枚目。電動椅子のそばで、母が次男および次男の子どものリョウくんと一緒に写っている写真です。

生前、母が一番楽しみにしていたのは、孫の元気の夫婦とひ孫のリョウくんに会うことでした。写真は三年前の一〇月にわが家に帰省した時のものです。写真の左上には、「孫とひ孫に喜び」という説明が書いてありました。この説明は長女が書いたものだと思いますが、「タマゴ」だ。

次いで三枚目。母が三年前の一月三日、友達あてに書いた二枚の年賀状です。この年賀状は母が書いた最後の年賀状となりました。九六歳という年齢ながら、筆ペンを使い、しつかりした字が書かれています。

その一枚には、「きえちゃん、おげんきですね。年賀状有りがとうございました。雪のないお正月でなによりです。風引かない（原文のまま）やう頑張ってるね。バイバイね」と書かれています。もう一枚のハガキも最後は、「バイバイ」で終わっていました。

五枚目。コタツのそばで脚を伸ばし何かを読んでいる母の姿です。頭には薄緑色の手ぬぐいがあり、「あねさかぶり」をしていました。説明には、「もらった手ぬぐい

さっそく被ってみた」とあります。母の顔は写っていないのに、不思議と母を強く感じる写真です。母は手ぬぐいが大好きで、どこでもかぶっていましたからね。

この写真をよく見たら、母のお尻の部分が少し出ていました。歳を重ねるなかで、母はシャツを着るにしても、ズボンをはくにしても、なかなか思うようにはいかなかったことを思い出しました。

母はいくつになっても食べるのが楽しみでした。友達に電話していても、「死んでしまえば、うんめもん食べらんねすけ、長生きしようだね」と言っつのが口癖でした。

アルバムには母が何かを食べている写真が四枚もありました。写っていた食べ物はおはぎ、笹団子、フキ味噌、あとは干し柿やお菓子でしょうか。このうち、春一番に食べる山菜料理、フキ味噌は母の好物のひとつでした。「うんめよおー」という説明の言葉は、そのまま母の言葉として聞こえてきます。

アルバムには私のよく知らない母の一面を写しているものがありました。「気に入っていたワンピース」という説明の写真がその一枚です。ネットの帽子をかぶり、灰色のワンピースを着ている姿は初めて見るものでした。ゆったり感があって、母の優しさがそのまま残っている写真でした。

母が海に行った時の写真もそうです。長女が母を海に連れて行ったことは話に聞いていましたが、写真が残っているとは思いませんでした。

アルバムの最後はその海の写真でした。一昨年の一〇月一四日に撮影されたもので、砂浜も海も空もとてもきれいです。私から言うのもなんですが、長女がアルバムの最後にこの写真を使ったのはとてもいいセンスだと思いました。この写真には母の姿はありません。でも、母が海を見て喜んでいる姿が目に見えます。

網戸を使って切り干し大根づくり

先週はいい天気が続きました。こういうときにやるのは切り干し大根づくりです。

先日、吉川区内で訪問活動している時に見せてもらったのは、網戸を使った切り干し大根づくりの干しやすいし、汚れも付きません。出来上がりが楽しみです。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月29日(水)	4月4日(火)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.070	0.063
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.060	0.050
高士分遣所	0.047	0.053

雪のある風景にひかれる

先月27日、大島画廊で開催された大口満先生(元上越高校教員)の個展を鑑賞してきました。毎年、この個展を楽しみにしていますが、雪の風景が一番好きです。

